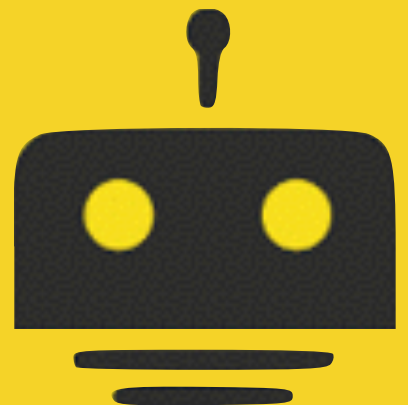


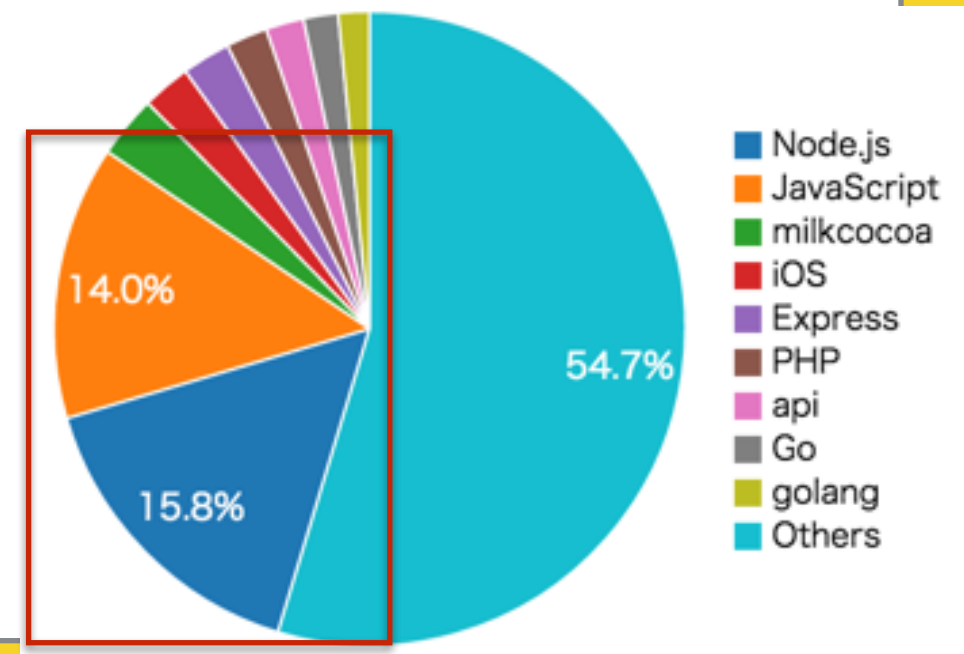
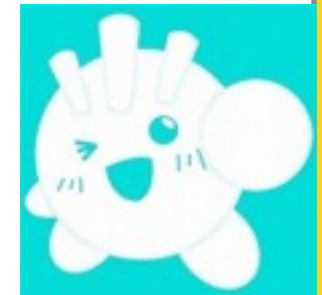
LIGでのNode.jsでのBot運用話 (≠NodeBots)

づや会 vol4 ~Node.jsの回~
LIG inc. @n0bisuke



About Me

- @n0bisuke
- LI Ginc. エンジニア / DevRel事業責任者
- 最近の興味: IoT / JavaScript Robotics
- 89世代
- Milkcocoaエバンジェリスト
- #IoTTLT



株式会社LIG

上野のWeb制作会社



最近はIoTやロボットなどの分野で攻めてます！

宣言

amazon.co.jp プライム

本 ▼

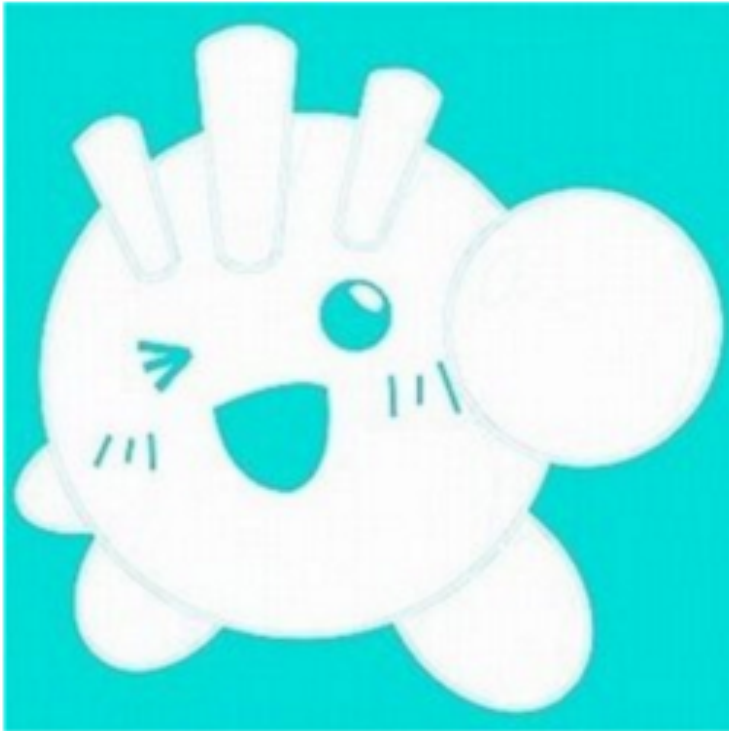
Amazonポイント: 3,298

カテゴリー ▼

マイストア ギフト券 タイムセール Amazonで出品 ヘルプ

本 詳細検索 ジャンル一覧 新刊・予約 Amazonランキング コミック・ラノベ 雑誌 文庫・新書 Amazon Student 本のお買い

菅原 のびすけ



1989年生まれ。岩手県立大学在籍時にITベンチャー企業の役員を務める。



現場のプロが教える
WEBデザイン
新・スタンダードテクニック
37
いまよく見る
定番手法を
大網羅!!
MdN

¥ 3,024
単行本



JavaScriptで
インタラクティブ3D
コンテンツを作ろう
Kinect+JThree+Milkococooを使って
東北ずん子と踊る
人間の動きを
自在に再現
自在のびすけ
中村 光典
由本 光典
踊る動作をkinectで認識し、リアルタイムで
Milkococooを介してJThreeに伝え、JThreeが
人間の動作に従ってMMDを操作する。

¥ 1,944
Kindle版





フロントエンド
エンジニアのための
必須知識
現在と
これからの
厳選したトピックを
最前線の著者が解説!
マイナビ


¥ 2,786
単行本（ソフトカバー）

左からWebデザイン / IoT / フロントエンド な書籍共著で書きました

※先日はNodeBotsの話をしてきましたが、今日は別物です。

 Speaker Deck

 Browse

 Upload

 n0bisuke


Speaker Deck

Published on Apr 5, 2016

Node学園 20時限目

NodeBotsの話

LIG inc. @n0bisuke



Star this Talk

1 Star

Published in

Technology

Stats

189 Views

Edit this presentation

Share

Twitter, Facebook

</> Embed

Direct Link

Download PDF

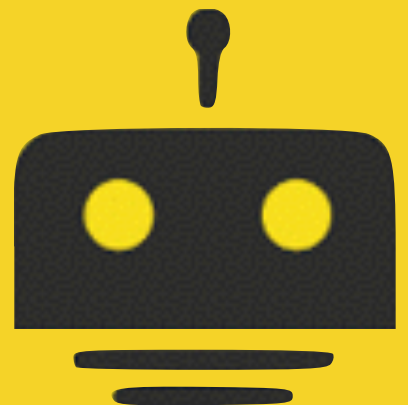
NodeBotsの話 (Node学園20時限目 #tng20 : 20分)

by n0bisuke

Published April 5, 2016 in Technology

LIGでのNode.jsでのBot運用話 (≠NodeBots)

づや会 vol4 ~Node.jsの回~
LIG inc. @n0bisuke



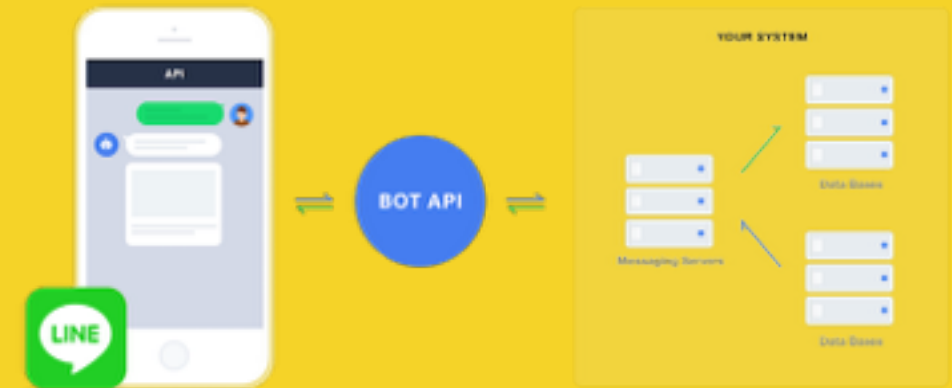
**最近のBot人気
すごいですね**

最近のおさらい

- **LINE BOT (2016/3/24発表)**

- **限定1万人のBOT API Trial Account**

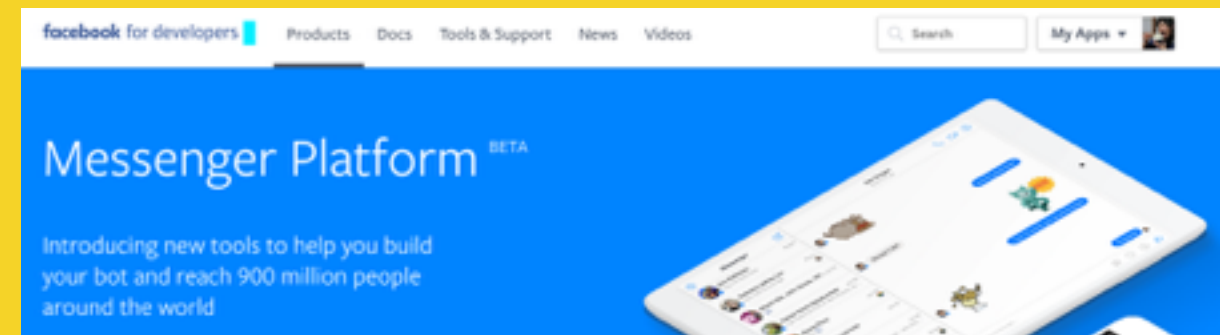
- **LINEでBot開発が可能に**



- **Facebook Messenger Bot (2016/4/12発表)**

- **Messenger Platform**

- **Facebook MessengerでBot開発が可能に**



最近のおさらい

- QiitaのLINE BOTタグもかなり盛り上がってる

 キーワードを入力 Hot Markdownによる情報共有サービス、Qiita:Team

 **linebot** + フォロー

61
投稿

113
フォロワー

linebotに関する情報が集まっています。現在61件の投稿があります。 また113人のユーザーがlinebotタグをフォローしています。

最近ストックされた投稿



kpkpkp が2016/04/11に投稿

BOT界隈の動きについてまとめてみた

bot linebot

84



gogotanaka が2016/04/18に投稿

Line bot APIのラッパーGem作ったヨ～

Ruby Rails Gem linebot

17

これまでのおさらい

- IRC



- うずら <http://www.din.or.jp/~ohzaki/uzura.ht>

- Twitter



- しゅうまい君 (@shuumai) / からしちゃん

- Slack



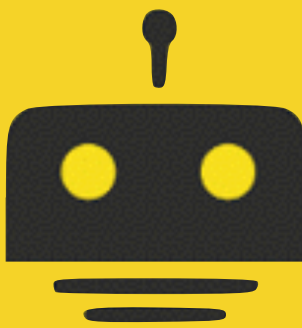
- ChatWork



マイブーム:

Node.js+Azure FunctionsでBot作成

- Azure Functions
 - AWS LambdaのMS版
- LINE BOTもMessengerBotもSSL必須
- Azure FunctionでNode.jsが動くのでここで無料で試すといいかんじ



Azure Functions

Microsoft Azure

Why Azure [Products](#) [Documentation](#) [Pricing](#) [Partners](#) [Blog](#) [Resources](#) [Support](#)

Functions PREVIEW

Listen and react to events across your stack

- ✓ Easily schedule event-driven tasks across services
- ✓ Expose Functions as HTTP API endpoints
- ✓ Scale Functions based on customer demand

[Get started >](#)

Or create a free Azure Account ▶

Explore Azure Functions: [Pricing details](#) [Documentation](#)

Function app
functions7464b357

Search my functions

- + New Function
- HttpTriggerNodeJS1
- HttpTriggerNodeJS2

Develop Integrate Monitor

Function Url:
<https://functions7464b357.azurewebsites.net/api/HttpTriggerNodeJS1?code=er1gy16n2uea6jcrss13323xrvj6fv7fvxbhuk274r9pjsjorxrjtm8p1sppt>

Code

```
1 'use strict';
2
3 const request = require('request'),
4   token = 'CAAMfnaJs0cQBAHSrsKHJKQqa1E6egjlpzMaFXpvBRATaWkLCJB6oIkL74TN14yM1zMdyeM0yRcwoISIA';
5
6 module.exports = (context, req) => {
7   context.log('Node.js HTTP trigger function processed a request. RequestUri=%s', req.originalUrl);
8
9   //GET
10  if (req.query['hub.verify_token']) {
11    if (req.query['hub.verify_token'] === 'hoge hoge') {
12      context.res = {
13        status: 200,
14        body: req.query['hub.challenge']
15      };
16    } else {
17      context.res = {
```

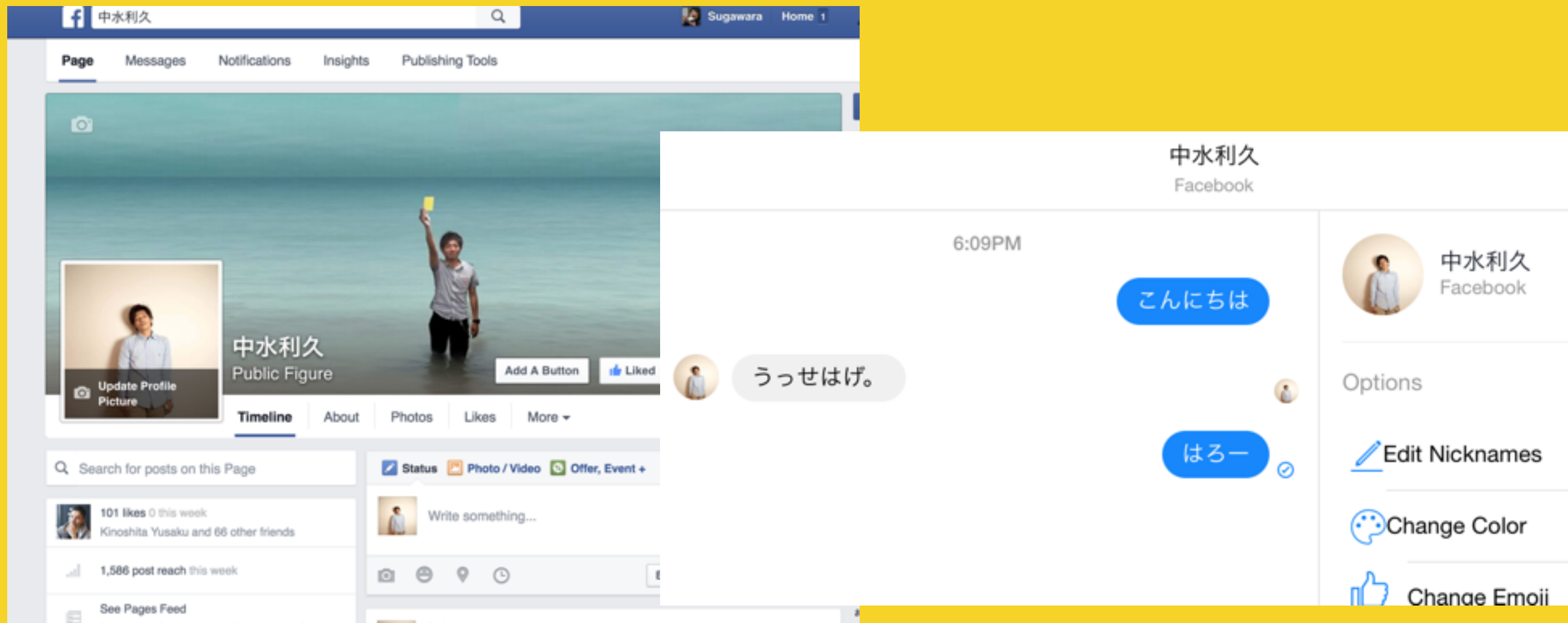
Logs

2016-04-18T11:23:33 Welcome, you are now connected to log-streaming service.

さくっとNode.jsが動いてくれる (無料)

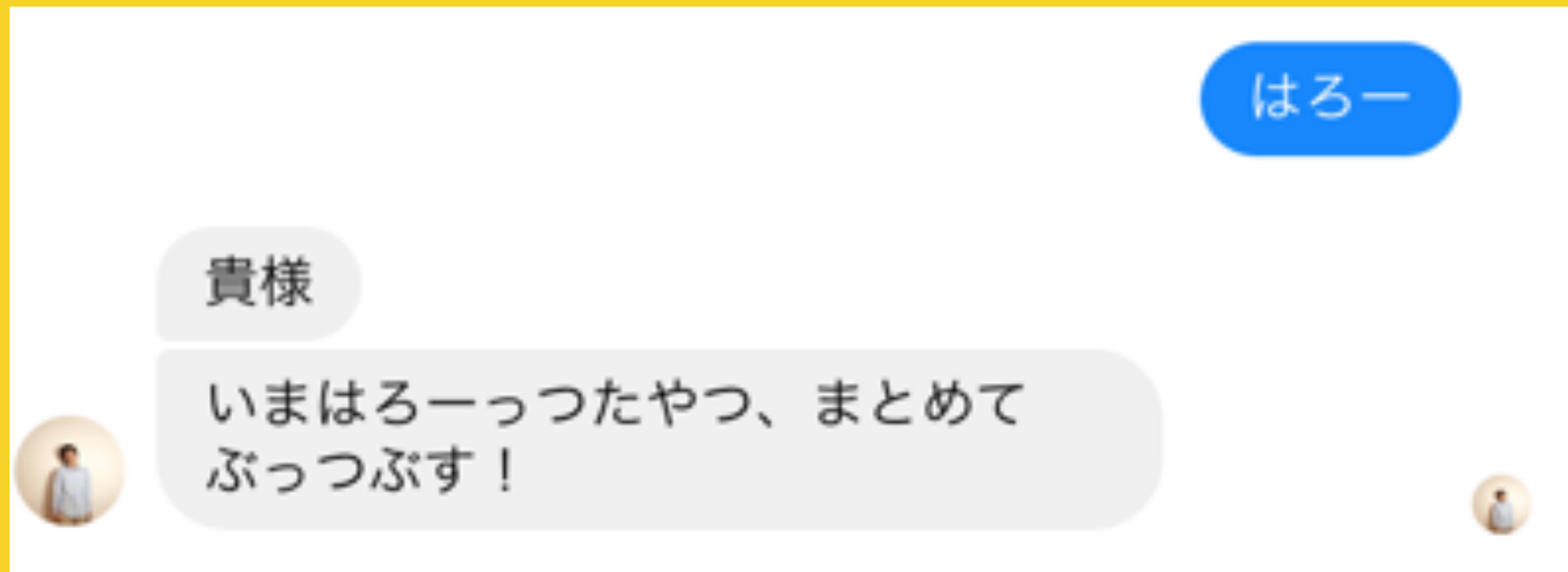
実際に作ったBOT

- Facebook Botはfacebook pageと紐づけるっぽい
- なかみーぼっと (内輪ネタですみません)
- LIGの歴代著名人 中水さんのBOT



実際に作ったBOT

- 特に目的はないです()



Bot Framework



- Hubot <https://hubot.github.com/>

- 一番メジャーなイメージ



- BotKit <https://github.com/howdyai/botkit>

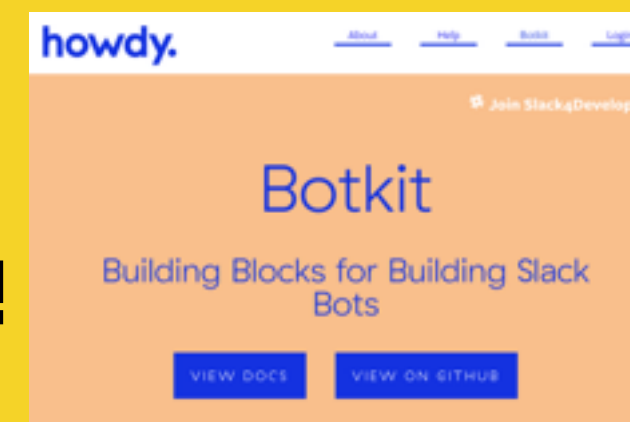
- 後発、Hubotよりもサクッと作れる



- Slacker <https://github.com/os/slacker>

- Pythonで開発する(らしい)

↑Node.jsが使えるとBot開発しやすいよ!



こんなBot作ってました

チャットワークから「Botを介してコマンド送信」する仕組みで仕事をハック！



Botアカウント
LIG子

・コマンド送信
・メッセージ受信
チャットワークで両方とも可能



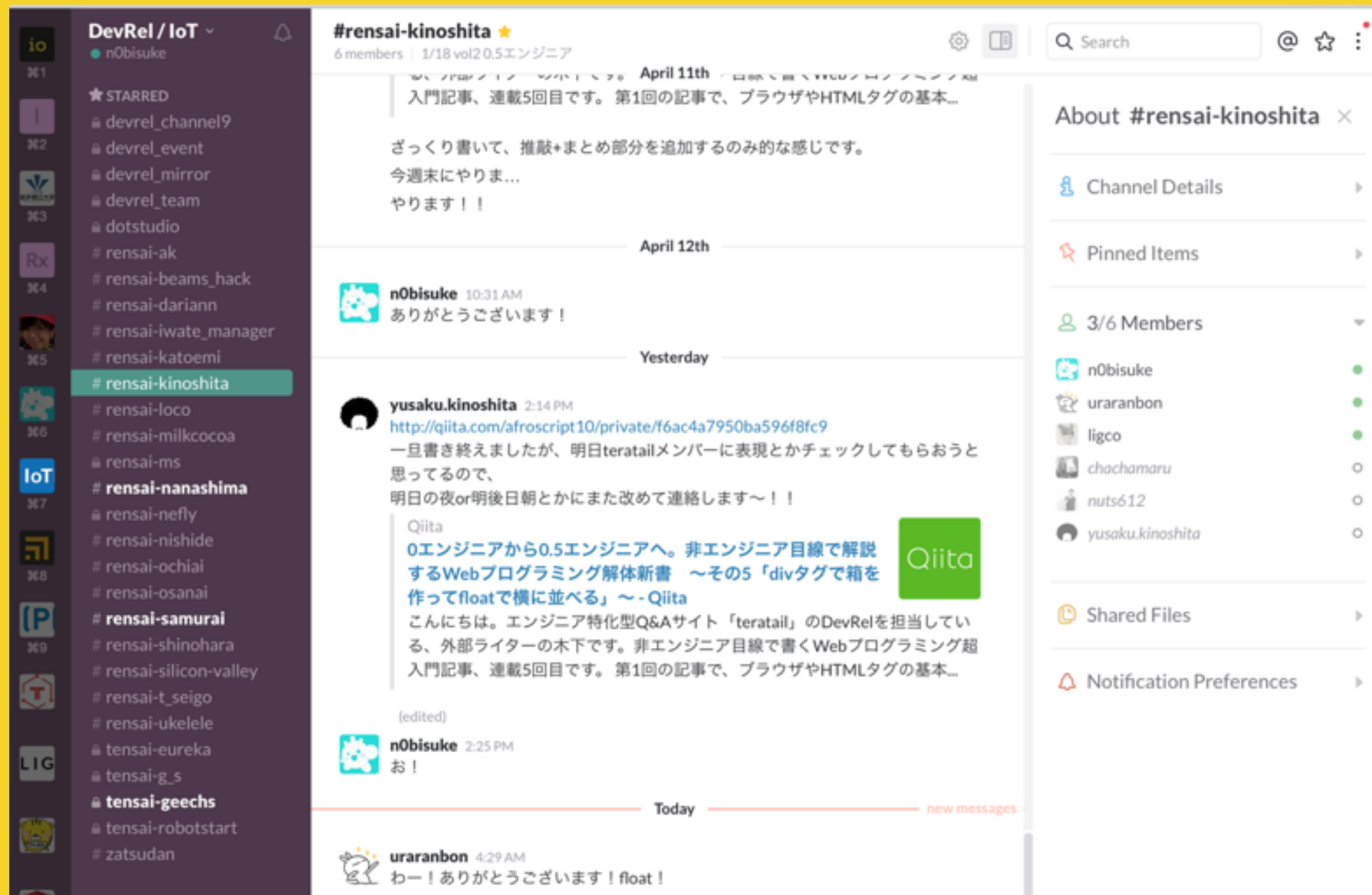
社員さん

開発者
「のびすけ」さん
チャットワークAPI、
Hu-botなどを連結



- 株式会社LIGの導入事例 | チャットワーク (ChatWork)

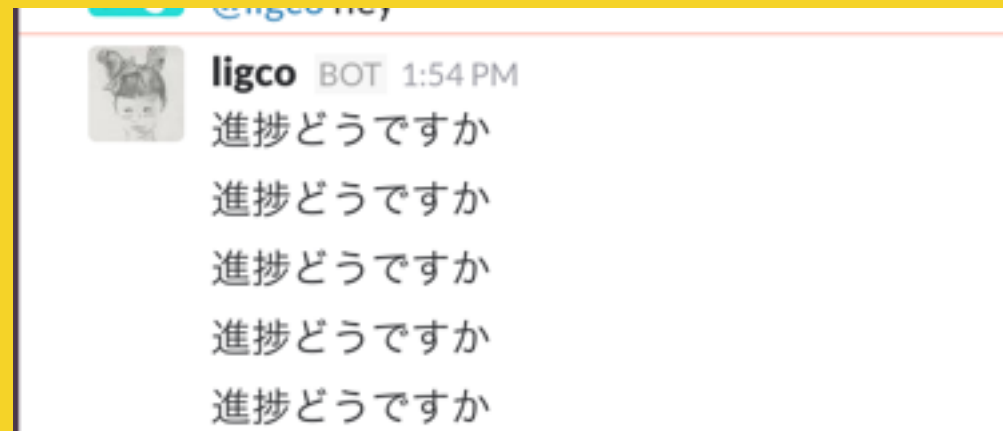
LIGブログ編集支援Bot



ライターと編集者のやりとりでBotを一部導入してます。

進捗どうですか

- 月1で記事を書いてもらっている
- 記事連載ごとにSlackチャンネル
- チャンネルの会話が一定期間行われないとBOT通知！



→人間がリマインド送るよりも効力が薄れるかもしれないけど
やらないより効果ありそう

MD2HTML

- エンジニアはMarkdownを使いたい
- LIGブログWPはMD未対応
- MD → LIGブログ向けのHTML変換スクリプト



→これ地味に大変なので重宝している

文字校正

- 細かいレギュレーションに対応させて人間がやる作業を効率化
- ”!などは全角！” にか ”記号のあとはスペース” とか
- 実際にはMS2HTMLに組み込んでる

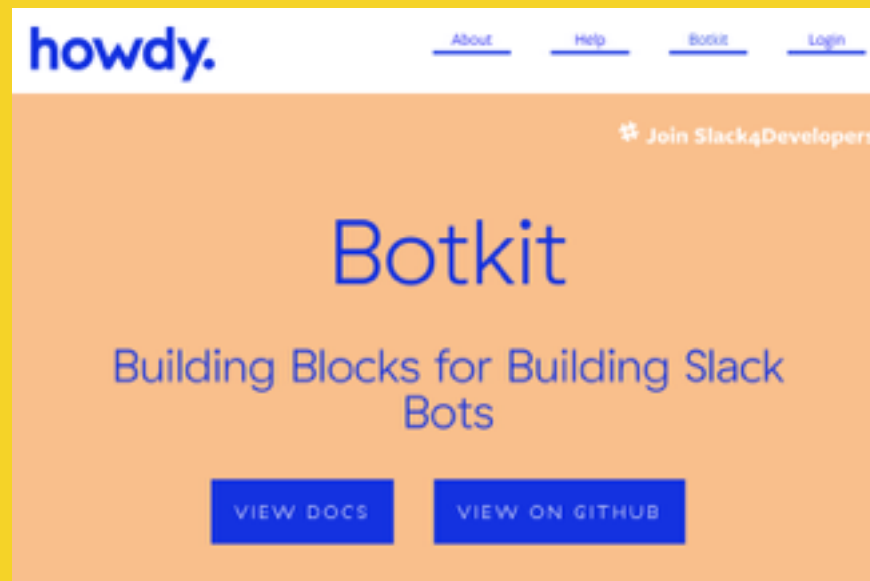
→ これも地味に大変なので重宝している(かも)

転載

- 転載記事を元記事から取得してきて変換
- 元記事 -> スクレイピング -> LIGブログのルールに合わせてHTML編集 -> LIGブログのようなHTMLへ
- 画像サイズはw:655px以上, 外部ドメインへのリンクはtarget="_blank"指定など

→ これで転載記事の量産が可能!

**人間がやらなくてもいいことはBOTに
やらせましょ！**



さくっとやるなら（現時点なら） 個人的にはBotKitオススメ

（あと、事例記事作ってほしい）

※HubotやCoffeeScriptなのとYeoman経由など覚えることが多いかも

まとめ

- 最近はBot作成界隈が盛り上がっている (LINE, Facebook)
- Azure FunctionsでのBOT作りがマイブーム
- Bot Frameworkの有名どころはNode.js (Hubot, Botkit)
- LIGでもBOT運用してるよ
- みんなもNode.jsでBot作ってみましょう。
 - 事例教えてください！